

「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案への 市民意見募集の結果と市の考え方について

(市民意見募集期間:平成25年7月1日から平成25年7月31日まで)

平成25年9月

江別市企画政策部 政策調整課 総合計画担当

(特記事項)

パブリックコメントの内容については、提出者の意見を出来るだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 1 (年代不明、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
1	—	子育て支援	<p>2才の子供と札幌から今年1月に江別に来ましたが、もっとこうすればよいのと思う事が色々ありましたので意見させていただきます。</p> <p>子供の支援センターが、午後までの場所が「すすく」の1ヶ所しかない。野幌の人は近くていいのですが、大麻のママたちはいつもそういうのが大麻にもあればいいのよね！と言ってます。</p> <p>もっと、若い人達が子供とすごしやすい街にしていけば、江別は、子供にとってよい環境だねとなり、人口も増えもっと、街全体が活発化すると思います。</p> <p>子供と遊べる施設(夕方位まで)をたくさん作り、もっと若い人達が外に出ていける街作り(産業活性化)をしていけばよいのではないのでしょうか。今、江別に来て、施設が少なすぎて、札幌まででていったりしています。もっと子供向けの施設を作ってください。</p> <p>1人の子供をもつ親の意見でした。よろしくをお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、子育て環境の充実は重要と考えております。</p> <p>今回、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」の戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」で、子どもを産み育てる環境を充実させることで、子育て世代の定住促進などに取り組んでいくこととしております。</p> <p>いただいたご意見は具体的な事業展開を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
2	—	公園	<p>公園も多いのですが、幼児があそぶのには少しあぶない。もう少し幼児などもたのしめる作りしてほしい。(すべり台のかいだんのすきまが広く、おちました)</p>	<p>ご意見のとおり、公園は安心して楽しむことができなければならない場所と考えております。</p> <p>公園整備につきましては、まちづくり政策05-01-(2)「公園整備の推進」において、計画的な公園施設の改築・更新等による安全対策の強化に取り組むとともに、子どもからお年寄りまで誰もが安心して楽しめる公園づくりを進めてまいります。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 2 (70歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
3	—	全体	<p>(I) 始めに</p> <p>ア) 旧来からあるカタカナ語以外のカタカナ(スコップとかデレキ)は解るが、解らないカタカナを市政だよりにとこの計画書に書くのか？80代の人が解らないと思う。</p>	<p>市民の皆さまにとってできるだけ分かりやすい計画書になるよう、表現を再度確認するとともに、分かり難い表現につきましては用語解説を掲載するなどの工夫をまいります。</p>
4	—	江別市の現状	<p>イ) 5月号の市の歳入出が市政だよりに出たが赤ん坊～高齢者迄1人当たりの借金が解らない様に書いてある。</p>	<p>江別市自治基本条例の理念にのっとり、市民との情報共有を進める上では、分かりやすい情報を提供することから、今後、市の広報等で、市民一人当たりの市債残高を表記することについて検討してまいります。</p>
5	—	都市基盤	<p>(II) なぜ人口が減少するのか？</p> <p>ア) 市営住宅に力点を置き過ぎていないか？(1人老人にしては広過ぎないかな)</p>	<p>住宅困窮者に対する安全網として市営住宅の整備は必要と考えております。</p> <p>なお、今後、新たな入居基準を設け、入居している世帯の構成と居室の広さの不一致の解消に取り組んでまいります。</p>

6	—	住環境 (高齢者)	(1)老人施設を国道市の関係で考えてはどうか。	いただいたご意見は、まちづくり政策03「福祉・保健・医療」等を推進していく際の参考とさせていただきます。
7	—	子育て支援	子育て (2)女性の出産、3年育児休暇があるが、例えば、市内にある会社を調査しているのでしょうか？	育児休暇に関しては、「江別市における給与・雇用実態調査」において、市内事業所の育児休暇の取得状況についてのみ調査を行っております。 人口減少対策として子育て環境を充実させることは重要と考えており、戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」において、重点的に取り組んでいくこととしております。
8	—	子育て支援	(3)3才児等の預る場所は充分ですか？待機児童はいませんか？	平成25年4月現在、厚生労働省の基準による待機児童はおりませんが、子育て世代が安心して子どもを預け働けることができるよう、今後もまちづくり政策06-01-(3)「未就学期児童への支援」や06-01-(4)「学齢期児童への支援」の中で、取り組んでまいります。
9	—	就業環境	(4)江別に中・高・大の学生の受入れ先がありますか？(札幌迄行かなくても市内で・・・)	平成24年度の「江別市における給与・雇用実態調査」によると、市内18事業所において大卒38人、短大専門学校卒18人、高卒12人の新卒採用がありました。 ご意見のとおり、江別市に住んでいる若者が、江別市内で働けるような取組を進めることは重要と考えており、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」の中で、戦略2の戦略プロジェクト「雇用の創出と人材育成の支援」を設定し、市内で働きたい人が働けるような就労支援に取り組んでまいります。
10	—	産業	(5)工業団地の利用の程度は？	市内には3つの工業団地がありますが、市が分譲できる土地は残り少ない状況です。また、工業団地内には企業等が所有している遊休地も残されており、企業等と連携して活用を図っております。 今後も工業団地を活用し、産業の活性化を図るため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」の中で、戦略2の戦略プロジェクト「雇用の創出と人材育成の支援」を設定し、企業誘致のための条件整備などに取り組んでいくこととしております。
11	—	都市基盤	Ⅲ環境について ア)自動車はなぜ必要か？ (1)買い物の場所が遠い	ご意見のとおり、これからの人口減少・少子高齢化社会においては、過度に自家用車に依存することなく、快適な生活ができるよう、戦略3の戦略プロジェクト「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)」において、駅周辺の利便性の向上や公共交通の充実などを進めてまいります。

12	—	道路環境	(2)自転車は歩道ではなく車道になったので使いづらい。又道路排水の穴があってそれをさける為中央近くに出る。排水を考えられないか(市道について)	いただいたご意見は、まちづくり政策の政策05-02-(1)「安全で快適な道路環境づくり」の中で、歩行者と自転車の安全性を高めるための道路整備を検討していく際の参考とさせていただきます。
13	—	道路環境	イ)歩行者の安全について (1)市道の歩道の傾度はX/1000と思うけどXは？冬期私でさえ危険と思う処がある。	歩道の勾配につきましては、「江別市道路の構造の技術的基準を定める条例」において、横断勾配は2%を標準としております。 いただいたご意見は、まちづくり政策05-02-(2)「冬期間の交通の確保」の中で、冬季の安全な道路環境づくりを進める際の参考とさせていただきます。
14	—	観光	IV要望 (ア)江別にホテル等が充分かな？	いただいたご意見は、まちづくり政策02-03「観光による産業の振興」や、戦略2の戦略プロジェクト「地域資源の活用による産業の振興」の中で、江別ならではの観光のあり方を検討していくにあたっての参考とさせていただきます。
15	—	観光	(イ)昔は江別から石狩迄夏場舟を出して石狩川の観光を多くの方が楽しんでいました。私も子供の時乗舟した事がある。何年か前珍鳥もいた。出来ればと。	いただいたご意見は、まちづくり政策02-03「観光による産業の振興」や、戦略2の戦略プロジェクト「地域資源の活用による産業の振興」の中で、江別ならではの観光のあり方を検討していくにあたっての参考とさせていただきます。
16	—	雪対策	(ウ)昨年大雪で車の中とかで数名が亡くなりました。住宅のある所は良いけど、市道で1km以内に住宅があると良いけれど(地球温暖化で雪が重くなっています。S40年代迄ダイヤモンドダストが降っていました)	まちづくり政策04-01-(5)「冬期生活環境の充実」や、05-02-(2)「冬期間の交通の確保」の中で、災害時も含めた冬期の安全性の確保に取り組んでまいります。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 3 (70歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
17	-	計画策定への市民参加	<p>1 計画策定への市民参加について 5000人のまちづくり市民アンケートについては新しい取り組みとして評価するが、えべつ未来市民会議委員をアンケート対象者に限定して選考したことは、市民参加の計画づくりの正しいあり方ではない。新しい総合計画の策定に重大な関心と意見を有し、参加意欲を持ちながら市民アンケートの対象にならなかったために、同会議から排除され、以後の行政審議会への参加機会も奪われたことは、参加意欲を有する市民にとっては不当な扱いであると言わざるを得ない。未来市民会議の学識委員からも、同会議の最終とりまとめの際に傍聴に参加してきた市民にも発言を求めべきでないかとの提案があったにもかかわらず無視し、未来市民会議がすべてとした強硬な手法は適切な形とは言えない。</p> <p>加えて、計画素案を検討する行政審議会の市民委員は広く市民から公募すべきであるにもかかわらず、未来市民会議の委員に限定して選考し、総合計画の素案作りに関心と意欲を持ち、未来市民会議を真剣に傍聴し、参加の機会を願っていた市民に、応募の機会すら与えていないことには強い怒りすら覚える。行政審議会への市民参加についての意見提案を提出したが、行政審議会は専門家に専門的な意見を聞くものであり、普通の市民の参加は必要ない、したがって公募の必要がない、市民からはパブリックコメントで意見を出してもらってからそれでいいとの回答であったが、江別市自治基本条例の重要政策の決定の市民参加の本旨に反するものでないかとの疑念を禁じ得ない。</p> <p>さらに、選考された行政審議会の委員は、市内の主要団体の会長等が全体の3分の2であり、未来市民会議の委員だった学識経験者と市民3人(この中の2人は市内主要公職者)である。これでは市民感情から遠い上から目線の意見になりかねない。専門家による審議という名目で市民を排除した根回し対策のための審議会と言わざるを得ない。</p>	<p>計画策定への市民参加につきまして、えべつ未来市民会議の委員は、男女の比率や年齢ごとの偏りをなくし、市全体の平均的意見に近い意見をいただきたいとの趣旨で、まちづくり市民アンケートの対象者から委員を募ったところであります。</p> <p>また、行政審議会につきましては、市長の諮問に応じて答申を行う審議会と条例で位置づけており、専門的な知見からご意見をいただく必要があることから、市内経済団体、市民団体、市内大学の方などに委員にご就任いただいております。</p> <p>さらに、えべつ未来市民会議提言書の内容が総合計画にきちんと反映されているかどうかを審議していただくため、その提言の趣旨や背景について熟知しておられる市民会議の市民委員の方にご就任いただいたところであります。</p> <p>今後とも、江別市自治基本条例の理念に基づき、様々な場面で、様々な手法により市政への市民参加を進めていきたいと考えておりますので、いただいたご意見も参考とさせていただきながら推進してまいります。</p>

18	-	計画策定への市民参加	<p>素案の段階で市民説明会が行われたことは評価するが、各界各層との意見交換が先行し、そうした団体等の役員でなく、参加機会のない市民への説明が後回しになっていることも理解しがたい。各界各層の代表を集めた行政審議会があり、意見もきいているわけだからそのような機会に乏しい市民への説明と意見交換が最優先されるべきである。</p>	<p>各界各層との意見交換につきましては、計画の策定方針の説明や、江別市の強みや弱み等の分析、ニーズ調査等のために実施したものであり、計画素案の説明を行ったものではなく、市民の皆さまへの計画素案の説明を後回しにしたということはありません。また、市民の皆さまからの意見聴取は、市民アンケート、えべつ未来市民会議、パブリックコメントなどを通じて、各界各層との意見交換に先立って実施しております。</p>
19	-	計画策定への市民参加	<p>また、総合計画素案に意見があれば、パブリックコメントを提出すればいいということだが、回答の義務がなく、採択するかどうか評価するかは市の判断で、どこでどう議論されるのかも明確でないパブリックコメントが市民参加のすべてとされることは、理解しがたい。計画の決定前に市民に対する説明と意見を聴く機会を設けるべきである。そこから、新しい総合計画に市民が賛同し、その推進に参加していく道が開かれるはずである。</p> <p>新しい総合計画素案の項目と直接関係がないなどの理由で、この意見がパブリックコメントの公表から除外されるようなことがないことを強く願うものである。</p>	<p>パブリックコメントでお寄せいただいたご意見につきましては、それに対する市の考え方とともに全て公表することとなっております。また、いただいたご意見は、市長の諮問に応じて計画素案について審議する江別市行政審議会や、市民の代表である市議会に報告するとともに、計画策定にあたって十分に検討させていただきます。</p>
20	-	江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿	<p>2 江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿について</p> <p>人口減少社会が到来することを強く意識しているが、地域の活力に大きい影響があるのは、GDP(市民総生産)であり、高齢化社会の到来は市民の所得の縮減が避けられないことである。江別市の内外から得られる市民の所得がどうなるか考え、その所得をどう確保していくかが課題である。一人当たりの所得が増えるなら人口が減っても市民生活は豊かになるのではないかと。一面的な人口減少対策でなく、市民総生産(所得)の視点から再点検すべきである。</p>	<p>ご意見のとおり、人口減少抑制策を講じるだけでなく、現実的に始まっている人口減少社会にあっても地域の活力を維持できるよう、えべつ未来戦略で戦略2「えべつの将来を創る産業活性化」を設定し、重点的に取り組んでいくこととしております。</p>
21	-	江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿	<p>また、「経済 —景気の低迷—」では、日本全体の状況に終始し、江別市がどうなるのかについて全く言及がない。市民としては江別市がどうなるか、市民生活にどんな影響があるか、行政や市民が何をすべきかが重要である。(4)地方分権、(5)環境、(6)市民協働、(7)安全・安心と同様に求められている方向性を明らかにして行くべきである。</p>	<p>計画素案の中の「1 江別市を取り巻く社会動向」において、全国的な傾向を示し、次に「2 江別市の現状」を述べた上で、今後江別市として、どのような方向に向かえばよいかを、「3 めざす姿」で述べるという構成になっております。</p>

22	21・22	自然・環境	<p>3 まちづくり政策について (1)自然・環境 人と自然の共生及び循環型社会の形成について 再生可能エネルギーの推進及びごみ資源化の推進については現状追認で消極的である。 これまでの施策の追認ではなく、再生可能エネルギーの推進とリンクした、ごみや下水道汚泥・家畜糞尿・食品残渣など多様な廃棄物のエネルギー利用を考えるべきである。</p>	<p>廃棄物のエネルギー利用につきまして、市ではこれまでも環境クリーンセンターにおけるサーマルリサイクルや、浄化センターの消化ガスを利用したグリーン電力認証など、先進的かつ積極的に活用してきたところであります。 なお、例示されている下水道汚泥や家畜糞尿、食品残渣などは、一般的に「バイオマス」と言われるものでありますが、これらにつきましても、下水汚泥肥料や発電用のバイオガスとして活用されているところであります。 いただいたご意見は、まちづくり政策01「自然・環境」を進める際の参考とさせていただきます。</p>
23	23・24	産業	<p>(2)産業について 農業・商工業・観光に限定して産業政策の方向を示しているが、5次計画の産業振興の発想から進展がない。江別市の産業構造から見ると建設・環境・医療介護・教育等を産業として位置づけ、その推進方向と施策の展開を明らかにすべきであり、江別市のGDPを確保していくためには総合的な産業政策の展開が欠かせないことから計画案ではきちんと考え方を盛り込むべきである。行政審議会の委員が農業・商工業・観光の3業種の団体代表に限定されていることも発想と検討の乏しさにつながっているのではないかと。</p>	<p>総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。 いただいたご意見につきましては、個別計画や各部の施策展開方針の中で、今後の産業活性化に向けたより具体的な施策展開を検討していく際の参考とさせていただきます。</p>
24	29・30	都市基盤	<p>(3)都市基盤について 江別の顔づくりは野幌地区の整備が他の地域とどう関連するのかが見えないし、他の地域の市民は無関心である。顔づくりが市全体の市民生活に及ぼす効果を明らかにする必要がある。</p>	<p>江別の顔づくり事業は、都市機能が集積しつつある野幌駅周辺を対象として、江別市の都市活動の拠点となる歩いて暮らせるまちづくりをめざすもので、高齢化や人口減にも対応した事業であると考えており、新しい総合計画の中でも着実に進めていきたいと考えております。</p>
25	29	都市基盤	<p>計画的な土地利用については、鉄道駅周辺を中心に集約するとしているが、鉄道だけでなく国道12号線をはじめとする幹線道路を生かす都市的土地利用を推進すべきであり、人口減少と高齢化に対応するコンパクトシティの定着を明確にすべきである。</p>	<p>人口減少と高齢化に対応するために、過度に自家用車に依存することなく快適に生活できるよう、土地利用面においても駅周辺に生活機能を集約するなどとしたコンパクトなまちづくりを進めていくことは重要と考えております。そこで、「めざすまちの姿」(P. 15(4)②)や、戦略3の戦略プロジェクト「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)」の中で、コンパクトなまちづくりを進めていくことを明確にしております。</p>

26	29	都市基盤	<p>上下水道の整備については、市民にとって他の手段を選ぶことができない財であることから、利用料金のあり方、コスト低減、管理体制の見直しが盛り込まれるべきである。</p>	<p>総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。いただいたご意見につきましては、個別計画である「江別市水道事業中期経営計画」及び「江別市下水道事業中期経営計画」の中に盛り込まれております。</p>
27	30	都市基盤	<p>交通環境の充実の冬期間の交通の確保については、生活道路の除雪事業者の対応が不適切で、市民ニーズに適切に対応しておらず、市民が過大な負担を余儀なくされていることが多い。降雪量の多い時には緊急車両の乗入れが数日間もできない安心して生活ができない実態があり、やむを得ず札幌に転居する高齢者が後を絶たない。こうした事情を認識した冬と雪に強いまちづくりの方向を明らかにし、市民に安心感を持たせるべきである。</p>	<p>雪対策につきましては、江別市の重要な課題の一つと考えております。いただいたご意見につきましては、まちづくり政策04-01-(5)「冬期生活環境の充実」や、05-02-(2)「冬期間の交通の確保」の中で、冬期の安全性の確保に取り組んでまいります。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 4 (80歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
28	—	戦略2	江別市の将来像は、その特性である農業に基本をおいた産業の創出、企業の誘致等による活性化である。その為には、産・学・官の連携が必要。戦略2に全く同感です。	ご意見のとおり、江別市の特性を活かした産業活性化に取り組んでまいります。
29	—	観光	観光面で提案します。市には観光客を呼び込むような”これ”といった名所、目玉が無い。私は石狩川の河川敷を利用して、素晴らしい「桜の並木道」を作って老若男女が楽しめる名所として売り出して欲しい。日本人には桜が一番似合います。是非実現してほしい。	いただいたご意見につきましては、まちづくり政策02-03「観光による産業の振興」や戦略2の戦略プロジェクト「地域資源の活用による観光の振興」において、江別ならではの観光のあり方を検討していくにあたっての参考とさせていただきます。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 5 (70歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
30	—	安全・安心	防災 特に石狩川、千歳川など支流の河川と隣り合せの地域に存在する関係上、十年に一度は遭遇している水害対策にも考慮し、『防災マップ』等を作成して欲しいです。	ご意見のとおり、江別市では水害に対する備えが重要と考えております。水害対策につきましては、まちづくり政策04-02「地域防災力の向上」の中で、水害に係る避難訓練等の実施や機会ある毎に防災意識の高揚について周知を図ってまいりたいと考えております。なお、平成24年3月に「防災あんしんマップ」を全戸配布しており、マップには、浸水想定区域図や風水害への備えなどについても掲載しております。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 6 (70歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
31	-	-	<p>★江別小学校跡に、現存するレンガ校舎など活用して都市防災広場、市民手作り美術館&市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場) ←情報革命、地元情報で心つなぐ</p> <p>★道立工業試験場跡(消防本部隣)に、都市防災広場、江別市役所のつぼろ出張所&市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場) ←地元情報発信の公平化進めよ、こころつなぐ情報プラザ</p> <p>※広告広場利用料(ただし閲覧は無料) パネル展示、出典市民1人当たり「1m×2m=枠含め2㎡以内」企業もこれに準ずる。(料金1日当たり100円、1か月1000円、1か年10000円くらいかな?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市役所等:各種広報・・・ ●地元選出議員の活動その提案と報告など。 ●町内会:隣町内の年間計画、市民祭り等・・・ ●企業:各種広告宣伝、食堂のおしながき、農家の良心市広告、病院等の健康指導ポスター等々・・・ ●個人:家財バーゲンのお知らせ、起業ポスター応援してくれる人を募集、趣味の成果プレゼンポスター(発表)、個人の写真展、お話し相手募集で孤立化防ぐ、また随筆発表など・・・ ●グループ:個人に同じ、ボランティア募集、さらに例えば石狩川江別ヨットクラブの案内、小中高大学等の児童生徒学生教師などのプレゼンポスターでの研究成果発表など・・・ <p>※内容は自己責任で公序良俗に反しない限り自由</p>	<p>いただいたご意見につきましては、具体的な事業提案として、今後総合計画を推進する事業展開を考える上での参考とさせていただきます。</p>

(解説等)・・・公民館等ロビーで寂しそうにお弁当食べる老人多い・・・

・主催者の集客広報作業と経費が軽くなる。併設施設の開館時間内であれば自由に閲覧でき、のっぽろ出張所や市民手作り美術館と併設することで管理人件費を軽減できる。

・情報は宝、高齢化社会では、インターネット難民が続出するかも。現在でも通信費高く、国民年金など年金生活者の多くは高い料金のネット接続を維持することはできていない。さらに若い世代はネットを活用しているだろうか。中年世代の携帯電話は音声通信のみが多く、メールは僅か。さらに更に高齢者世帯は時間があるにしてもテレビとラジオと新聞、図書、雑誌のみ、ここで漏れているのは農家の良心市や食堂の情報発信が容易でないこと。その状況を改善し補完するのが公営の市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場)。またネット通信の入口にもなり費用の軽減にもつながるだろう。資金力のある企業だけでなく個人や零細事業者の地元情報発信を可能にしよう。

・江別地区の活性化に寄与、とくに商店などの詳しい情報を発信できるかも。

・旅行者が集まるかも。道外からの旅行者は先ず※交流広場での情報収集のため江別へ

・生涯学習に有効かも。成果発表の「場」ができれば高齢化社会の活性化促すかも。

・手作り美術館:これから時間かけ検討する。絵画や陶芸作品などはどこに展示されているのだろうか。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 7 (50歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
32	21	循環型社会の形成	<p>循環型社会の形成についてですが、具体的な施策を提示して欲しい。 循環型社会を目指すのであれば、プラ容器ごみのリサイクルをするべきだと思います。プラ容器ごみは「プラスチック容器包装リサイクル法」でリサイクルの流れがすでに構築され、札幌市や岩見沢市を含め道内でも多くの自治体が回収を実施しており、多くの拠出金を受け取っている自治体もあるようです。ごみ削減の観点からも絶大な効果があると思います。(家庭ごみの6割がプラ容器との統計もあり)</p> <p>以前、同様の提案を市のホームページからしたところ「燃えるごみとして焼却し市の施設で使う電力を賄っている」との回答でしたが、石油資源は燃やさずに材料として再資源化すべきだと思います。もし焼却して電力化した方が、経済的にも資源的にも有利になるのであれば、焼却しても良いのかもしれませんが、その際はプラ容器ごみの回収は無償化すべきだと思います。拠出金の原資は商品価格に転嫁されるなどして、市民が負担していると思います。この拠出金を市が受け取らずに有償で回収するということは、市民は二重に負担させられている事になっていると思います。</p>	<p>総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。プラスチック容器のリサイクルに関するご意見につきましては、個別計画である「江別市一般廃棄物処理基本計画」において「資源物収集の品目拡大の検討」を施策としていることから、この中で検討してまいります。</p>
33	30	交通環境の充実	<p>交通環境の充実についてですが、除雪の格差を無くして欲しい。 一昨シーズンの大雪(60cm程度の積雪)の際、除雪が入らずに住民が大変苦労したことがあり、電話で除雪を依頼したところ、15時頃に道路を挟んだ隣接地のみ除雪し戻って行きました。また、一昨シーズン、昨シーズンを含めて同様に大雪の際に、隣接地のみ除雪し戻って行ったことがありました。このような格差は無くしてください。予算の関係もあるのですが、その割にはシーズン終わり頃に無用だと思われる排雪を行い、その後の降雪時除雪に来なかったこともありました。</p>	<p>雪対策につきましては、江別市の重要な課題の一つと考えておりますので、いただいたご意見につきましては、まちづくり政策の政策04-01-(5)「冬期生活環境の充実」や、政策05-02-(2)「冬期間の交通の確保」の中で、冬期の安全性の確保に取り組んでまいります。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 8 (年代不明、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
34	2	江別市のあゆみ	<p>素案の基本的な考え方の〈江別市の歩み〉を訂正してください。 議会の検討委員会でも指摘されていますが、北越殖民社が明治22年開拓に入り、その後、野幌森林公園が消滅する危機を救って、江別市の発展に大きく貢献した事実を記載していません。ここは先住アイヌの問題とともにきちんと修正することを求めます。</p>	<p>「江別市の概要」につきましては、計画書を読まれる方に、江別市という自治体のイメージを持っていただくため、歴史ではなく地勢や特徴など中心にを記載しておりますので、ご理解願います。</p>
35	—	—	<p>■ 総合計画について、昨年8月には「市町村は、議会の議決をへてその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定めなければならない」とした地方自治法の条項が削除されました。理由は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画は、策定する際には一大イベントとなるものの、出来上がってしまえばお飾りに等しいのが実態であった。(この点は毎年検証する必要があります) ・ 1つの市町村が2つの政策体系を持つという事態が生じたのである。 <p>首長候補がマニフェストを掲げて当選すれば、その政策は有権者の信任を得ることになる。ところが一方で、市町村には議会が議決した総合計画がある。そうするとマニフェストと総合計画をすり合わせる作業が必要になった。(期間が10年というのは問題で、せいぜい4年の任期にあわせるべきではないでしょうか)</p> <p>■ 廃止後の市町村の選択肢は3つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合計画は策定せず個別計画で対応する ②行政の任意計画として策定する ③条例で議会の議決事項に定めて策定する <p>江別市は今回③の議会の議決事項に定めて策定することを決めたのですが、私は①か②が良いと考えます。少なくとも、①から③のどれを選択するかは、市民を含め議論が必要だったと思うのですが、いきなり第6次の総合計画作成に突き進みました。</p>	<p>当市におきましては、地方自治法が改正される以前に、市民のご意見をいただきながら策定した「江別市自治基本条例」の第13条で、総合計画を策定することを規定しております。</p> <p>また、総合計画は市の最上位に位置する重要な計画であることから、市民の代表である市議会でご審議いただき、議決していただくべきものと考え、総合計画を議会の議決事件とする条例を制定しております。</p>

36	—	成果指標	<p>■ 議論をするベースとして、第5次総合計画について、検証が必要です。例えば、江別市が今まで行った大型投資を振り返ると、病院事業に100億円。ゴミ焼却炉に90億円、野幌駅前再開発に350億円(推計値)等々の巨額の投資が、行われていますが、実施に際し、市民に対して十分な説明や議論もなく、投資の効果や成果目標もあいまいなまま行われ、しかも年々投資の効果が検証されることなく、今日に至っています。</p> <p>野幌駅前開発の投資を行う際の市民説明会に、期待される成果を当時の小川市長に質問したところ、1以上であるとお答えでした。費用対効果が1を上回っているとのことですが、私の求めた答えは例えば、①投資の結果、江別市の人口が10年後16万人を維持できる。②再開発により商店街や産業が発展し、税収が年間30億円乃至50億円の増収を期待できるといった具体的な成果目標でした。今回の第6次総合計画についても、この計画を実施するのに、予算はいくら必要で、その財源は10年間にどのようにして調達可能であり、どの事業を行えば、人口が10年後に16万人を維持できるのかとか、市民税の税収がこれこれの理由で180億円期待できるといった具体的な成果目標を提示できていません。</p> <p>具体的な成果目標がない計画は「作文」であり、検証できないので、計画とはいえないのではないのでしょうか。なぜなら、成果目標が明らかでない計画は、単なる夢物語か希望でしかないし、成果があってもなくても誰も責任を取ることなく、単なる決意表明に過ぎないからです。</p> <p>そして、どんな個別事業を行っても、政策1～09のどれかに該当します。これでは、全く危機感がない机上の計画だと思うのです。</p> <p>その結果、財政が破綻したりしても、いよいよになれば、日本の国が救済してくれると考えているとしか思えません。しかし今の時代は、国自体が破綻するかどうかという厳しい状況です。したがって、地方自治体は自己責任で運営することを強く求められています。</p>	<p>今回策定する総合計画は、少子高齢化や人口減少、経済・雇用環境の悪化や環境問題など、江別市を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応するため、これから10年間のまちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、総合計画に沿ってどのような事業展開を行っていくかは、毎年度各部局で定める施策展開方針や予算編成作業の中で具体化していくこととしております。</p> <p>また、総合計画の推進にあたっては、「えべつ未来戦略」の中で成果指標を設定し、目標を明確にして進行管理するとともに、総合計画の方向性を踏まえて分野ごとに定める個別計画や分野ごとの施策展開方針の中でも成果指標を設定して進行管理してまいります。</p> <p>なお、第5次総合計画の検証につきましては、新しい総合計画を策定する段階では、計画期間内であるため、総括という形で市議会や江別市行政審議会でご報告し、併せて市のホームページでも公開しており、この内容を踏まえて新しい総合計画の策定作業を進めております。また、個別計画や施策展開方針につきましても、第5次総合計画の総括の内容を踏まえて推進してまいりたいと考えております。</p>
37	—	—	<p>■ 今回の素案を読んで、更に説明会に出席をして、この素案は時間と多くの人の手をかけたにも係わらず、出来た素案は、結果、上にも書かれているように、お飾りに等しいものが出来上がっていると思います。</p> <p>なぜ、計画をつくる必要があるかという厳しい認識が無いからです。具体的な計画がなければ江別市はどうなるか、万一財政破綻したら、その時責任は誰がとるのか、現状の認識が甘いと言わざるを得ません。</p>	<p>総合計画は、将来のまちづくりの基本方向を定め、計画的・効率的な行政運営を行うために策定する重要な計画と考えておりますことから、江別市自治基本条例第13条においても、これからのまちづくりの指針となる総合計画を策定することを規定しております。</p>

38	—	—	次に、計画をつくる人は誰なのかということも大切です。当然首長です。でも素案の作成に首長はどんな役割を果たしたのですか。 本来、首長は世界や日本の国の現状と将来を考え、その観点から今後の江別市をこんなまちにしたいし、こんな街を実現するために「総合計画」の「基本ビジョン」をつくって、市民に説明し、賛同を求めるべきではないでしょうか。	新しい総合計画の策定にあたりましては、庁内各部署の調整を図り、計画の庁内案を作成するため、市長を議長とする江別市新総合計画庁内検討会議を設置して進めております。 江別市を取り巻く社会動向や、江別市の現状を踏まえて作成した計画素案について、市民説明会を開催して市民の皆さまにご説明するとともに、パブリックコメントを実施してご意見をお伺いしたところであります。
39	—	成果指標	人口を3年後には12万9000人にする。そのためには、こんな特徴のある街にする必要がある。といった基本的な成果目標が必要です。そしてそのことを実現するための強い決意の表明が必要です。	総合計画の推進にあたりましては、「えべつ未来戦略」の中で成果指標を設定し、目標を明確にして進行管理するとともに、総合計画の方向性を踏まえて分野ごとに定める個別計画や部局ごとの施策展開方針の中でも成果指標を設定して進行管理してまいります。
40	—	産業	そして市民に江別市は世界に向け、貿易を行うための輸出戦略を策定すること。(農産物なのか工業製品なのか健康産業なのか観光なのかは明らかにする必要があります)。	戦略2の戦略プロジェクト「農業と2次産業・3次産業との連携による広域的な展開」の中で、市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援していくこととしております。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきますながら取り組んでまいります。
41	—	—	江別市の問題点は何か。解決の方法はあるのか。ビジョンが必要です。 どの街にも通用する一般的な街づくりでなく、江別市にしか出来ない個性的な街とはどんな街なのかを示し、議論し、その上で②行政の任意計画としての総合計画を作るべきです。 前の計画の期限が切れるから作るといった事務的なやり方ではダメだと思います。	新しい総合計画では、従来の総合計画のように市政全般に係る政策展開の方向性を示すだけでなく、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、重点的・集中的に取り組んでいく「えべつ未来戦略」を策定し、江別市ならではのまちづくりを進めていくことにしております。
42	—	—	■ 今の江別市は札幌という巨大な都市の隣に位置しているという立地条件の良さで、大学もあり、自然環境に恵まれて農業を中心に発展してきましたが、今後の人口減少社会に生き残るには、何をすべきかが明らかになってはいません。	今後、人口減少が予測されている中で、少しでも人口減少を抑制し、まちの活力を維持していくために、江別市として重点的・集中的に取り組むべき方向性を明らかにするため、新しい総合計画では「えべつ未来戦略」を策定し、4つの柱に基づき推進してまいります。

43	-	産業	<p>農業を支える人の年齢も高齢化しています。農業は今後世界的な食糧難も予想される中で、成長部門だと思われます。しかし現状のやり方では無理でしょう。そこで戦略的な農業経営に切り替えていくことは、大切な方向だと思いますが、果たしてこれからの農業を支える母体はいるのか、誰なのか。人材を育てながら、新しい農業にチャレンジする戦略を試行錯誤することは、今一番必要なことだと思います。株式会社にするとか規模を大きくし世界の農業の中で、勝ち残っていくには、素材で売るだけでなく、加工品、工業製品化も検討するべきでしょう。それから、人材の育成もどうするか。資本はどう集めるか。資本主義農業にいかにか早く転換するかが勝負の分かれ目だと思います。(テレビで北海道がシンガポールやインドネシアに北海道の商品を展示販売するアンテナショップを計画しているとのニュースが放映されていました。こんなチャンスを生かすことが先だと思います)</p>	<p>いただいたご意見は、まちづくり政策02-01「都市型農業の推進」や戦略2の戦略プロジェクト「農業と2次産業・3次産業との連携による広域的な展開」を具体的に推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
44	-	産業	<p>■ 江別市の弱みは、現状に満足している高齢者が多く住み続けているが、産業や勤務先がないため、子供は地元を離れて、東京や内地に行ってしまう。それなのに、江別市は今住んでいる人が満足しているから、将来は安泰と考えていて、その結果、商店街は衰退し、わかい人はいないが今が大丈夫なら、今後も大丈夫といったおかしな思い込みで、総合計画をつくっている。大きな間違いを犯していると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、将来にわたって持続可能なまちづくりをしていくためには、若い世代の定住促進が必要であり、そのためには市内で働く場の確保が重要な課題であると認識しておりますことから、「えべつ未来戦略」の中で戦略2を設定し、産業の活性化や雇用の創出に重点的に取り組むこととしております。</p>
45	-	産業	<p>個別計画としては、人口を増やし、消費を活発にして商店街や産業を活性化するのが一番だと思いますが、隣の札幌市の方が江別市に来て買う仕掛けが出来れば、それもいいのではないかと思います。そのためには「道の駅えべつ」をつくるのがいいのではないのでしょうか。「とんでんファーム」を核店舗として「町村牧場」とか「スイーツの店」を組み合わせた「江別ブランド」の野菜や肉や牛乳の加工品や食事もある道の駅を作ることが、街の宣伝にもなるし、ブランド化も進めることが可能だと思います。江別市もバックアップをして、是非江別ブランドを確立するよう頑張ってください。 農産物の直売所は江別市民を対象とした販売所として存続は可能だと思います。両立は可能ではないでしょうか。</p>	<p>まちづくり政策02-03「観光による産業の振興」や戦略2の戦略プロジェクト「地域資源の活用による観光の振興」などで、交流人口の増加や江別ブランドの確立に取り組んでいくこととしておりますことから、いただいたご意見につきましては、これらを具体的に推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
46	-	観光	<p>更に「やきもの市」も今後もっと新しい展開を考えてはいかがでしょうか。2日間のイベントから脱却して、1ヶ月とかの長期に開催することも面白いのではないのでしょうか。 集客力はあるのですから、是非検討をして見て下さい。</p>	

47	—	—	<p>第149回直木賞を江別市在住の「桜木紫乃」さんが受賞されました。読売新聞のインタビューを読むと「30代半ばまで過ごした釧路やその周辺が作品の舞台として頭に浮かんでくる」</p> <p>とのことで、今後も小説の舞台は釧路や道東とのことです。しかし、現在江別市に住んでいる桜木さんに対し、江別市の働きかけは全然見えてきません。釧路市と比べると情けない限りです。本来は江別市がもっと積極的に働きかけて、江別市を日本中に売り込むチャンスと捉えても、おかしくないのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、戦略4「えべつの魅力発信シティプロモート」を具体的に推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
48	—	観光	<p>先日の函館市でのグレイのコンサートのニュースを見て、グレイの存在が函館市の今後の発展に大きな役割を果たすと思いました。インタビューに答えて、函館市に観光に行きたい、もう一度来たいという人を増やしていて、観光産業の中心的役割を果たしているように思えます。今はブランドの時代です。</p> <p>江別は野幌森林公園という素晴らしい自然公園を持っています。その他江別ブランドの顔として活躍を期待したいものです。</p>	<p>まちづくり政策02-03「観光による産業の振興」や戦略プロジェクト「地域資源の活用による観光の振興」、戦略4「えべつの魅力発信シティプロモート」などで、交流人口の増加や江別ブランドの確立に取り組んでいくこととしておりますことから、いただいたご意見につきましては、これらを具体的に推進していく際の参考とさせていただきます。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 9 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
49	-	-	<p>私は、現住所に居住を始めてから丁度10年になる年金生活者で、夫婦二人暮らしの者です。</p> <p>但し、41年前の結婚以来頻繁に来ていましたので、札幌や江別のこの40年間の変化についてそれなりに承知しています。また、現住所が「江別の顔づくり事業」のうち区画整理対象地区になっているので、「まちづくり」には関心があり、加えて、職業上の経験から都市交通には特に関心があるので、それらを中心に意見を述べます。</p> <p>まず、素案を通読致しましたが、基本的に以下の問題があります。</p> <p>① 前回の第5次計画の結果検証とその評価がなされていない。＝ 時系列的考慮が示されていない。</p> <p>－ 昨年8月の意見募集時にも述べましたが、前回計画(第5次計画)の実施状況について、それは今回計画作策定の前提となるものであるが、2年前には「新総合計画の策定方式」に関する意見募集であったので、その時点では已むをえないと考えたが、新計画の策定に当たっては前回計画の検証・評価を周知してもらいたい旨述べたが、結局今回もその評価が記されていない。</p> <p>10年に一度の総合計画であるから、前回がどうであったのか、何が出来て何が出来なかったのか。それはなぜなのか、と言った分析が示されないのでは、一般市民は今回の素案が妥当なのかどうなのか判断出来ない。極めて重要な総合計画であるから、今回の検討委員会でも前回計画の評価について話し合われたのであろうから、その内容を先ずは明記すべきである。時系列的評価無くしては、今回素案の妥当性を判断できない。そのような評価は物事を決める時の前提条件であり、極めて重要なことである。</p>	<p>第5次総合計画の検証につきましては、新しい総合計画を策定する段階では、計画期間内であるため、総括という形で市議会や江別市行政審議会でご報告し、併せて市のホームページでも公開しており、この内容を踏まえて新しい総合計画の策定作業を進めております。また、個別計画や施策展開方針につきましても、第5次総合計画の総括の内容を踏まえて推進してまいりたいと考えております。</p>

50	—	—	<p>② 江別市の現状に関する認識が不十分である。＝ 近隣諸都市との比較等、相対的評価がない、足りない。</p> <p>江別市の現状。素案に示された人口等の数値はそれなりに正しいものであろうが、それがどのような意味を持つのかについての分析がない。人口が減り始めたというが、それは前計画の策定時点でもある程度予測がついていたのではないか。「江別の顔づくり事業」の策定に当たっては、江別の将来人口が15万人とも、18万人とも想定し、それに見合う都市改造が必要、と述べられていたが、現実には素案に有るように2005年をピークに人口は減少し始めた。にもかかわらず都市計画決定を強行し、最近では「顔づくり事業は人口減少にも対応したものである」と市の公式文書にあり、これは計画の前提が破たんしたことを認めようとしないう言辞であるばかりか、態度の豹変ともいえるものである。この様な考え方をする人々に、新計画を語る資格はないのではないか。また、江別市の近隣都市との比較についても具体的な言及がなく、ただ「札幌市に隣接している云々」と記されているのみである。大都市との関連で都市型農業については素案で言及されているが、江別市民の相当数が札幌に職場を持つという、いわゆる「札幌のベッドタウン」としての認識が十分でない。類似の位置にある北広島市や恵庭市、千歳市等との相対比較による江別の現状はどうなっているのか。岩見沢市や北見市等と比べるとどのように江別市が優位であるのか、弱点は無いのか、と言った分析が無い。</p>	<p>ご意見のとおり、近隣市や類似都市との比較を通じて江別市の現状や強み・弱みを分析した上で、計画策定作業を進めることは重要だと考えており、道内他都市との社会指標の比較を行っております。ただし、それぞれのまちの成り立ちや地勢、特徴は大きく異なることから、その分析結果につきましてはえべつ未来市民会議における参考として議論していただく中で市民意見を踏まえて、総合計画の素案を策定したところであります。</p>
51	—	—	<p>③ 素案全体が総花的、抽象的でありすぎる。＝ 数値目標等の具体性がない。</p> <p>素案の文章が総花的になることはある程度やむを得ないが、抽象的に過ぎることは問題である。各項目について、まるで市役所内各部の業務執行目標を書くが如く、「・・・に努める」とか、「・・・を支援する」、「・・・啓発を推進する」といった、まるで第三者的な作文のように見える。従って具体的な説得力がない。果して審議委員の方々もそのような意見であったのだろうか。審議委員の中にも、学識経験者(大学教授等)は勤務先等個人的な立場が明らかであるために発言に限界があることが想像され、また一般の市民委員は本音でものを言いたくても言いにくい状況であったことはなかったのだろうか。</p> <p>行政当局者にしてみれば抽象的な表現は業務遂行上便利であろうが、当事者の市民にとっては不幸なことである。現代においては、可能な限り数値目標を入れるのが社会的原則であるが、素案にはそれが無い。</p>	<p>今回策定する総合計画は、少子高齢化や人口減少、経済・雇用環境の悪化や環境問題など、江別市を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応するため、これから10年間のまちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、総合計画に沿ってどのような事業展開を行っていくかは、毎年度各部局で定める施策展開方針や予算編成作業の中で具体化していくこととしております。</p> <p>また、総合計画の推進にあたっては、「えべつ未来戦略」の中で成果指標を設定し、目標を明確にして進行管理するとともに、総合計画の方向性を踏まえて分野ごとに定める個別計画や分野ごとの施策展開方針の中でも成果指標を設定して進行管理してまいります。</p>

52	30	公共交通の活性化	<p>例えば、公共交通の再構築、というが一体いつごろまでに、どのようにしていくのか。バス事業者は全国的に存亡の危機に瀕していると聞く。江別市では別途「コミュニティバス検討会」を開いているようだが、それとの関係はどうなっているのか。</p>	<p>今後のまちづくりにふさわしい公共交通のあり方について、バス事業者、学識経験者、関係機関、市民団体等代表者および公募市民で構成される公共交通検討会議を平成24年7月に設置し、現在も継続中であります。</p> <p>今後の公共交通に関する具体の取組につきましては、公共交通検討会議での検討結果も踏まえながら、まちづくり政策05-02「交通環境の充実」や戦略3の戦略プロジェクト「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)」の中で進めてまいります。</p>
53	-	-	<p>来月(2013年8月)から野幌駅と北海道情報大学とを結ぶ貸自転車事業を行うようであるが、この計画自体が突然発表されたもので地元市民に根を下したのではなく(新聞報道で知りました)、即効的に計画し実行されようとしている。この様な「即効的」なものは、消え去るのも早いのではないか。そうだとすれば市民税の無駄使いではないか。</p>	<p>サイクルシェアリングは「環境に配慮したまちづくり」や「放置自転車対策」を目的に、地域も入った検討協議会を経て、運営協議会により野幌地区の2か所(野幌駅・北海道情報大学)にサイクルポート(共有自転車専用駐輪場)を設置し、平成25年8月からサイクルシェアリングを開始しました。</p> <p>いただいたご意見を十分に受け止め、今後の事業を進めてまいります。</p>
54	-	-	<p>以上、具体的に述べてきたが、私が常日頃感じていることをこの際に改めて書きたい。</p> <p>まずは、素案中に再三強調されていることであるが、「市民との協働」というのがこれが全く実行されていない。早い話が、今回の意見募集自体、文書を見たのは情報図書館であるがそこには持ち帰るほどの分量は置かれておらず、漸く野幌公民館で入手したほどである。この様な重要な案件は、全世帯に配布すべきではないか。「広報広聴の充実」というが、口先だけで実行されていないではないか。</p>	<p>今後、江別市自治基本条例の理念にのっとり、市民協働や市民との情報共有を推進していくにあたっては、いただいたご意見に十分配慮してまいります。</p>
55	29	都市基盤	<p>次に「江別の顔づくり事業」についてであるが、この意見書の冒頭にも述べた通り、既に平成18年度から実施されている同事業の中間評価について、今回の素案の前提として何も記されていない。江別市の人口が減少し、高齢化が進む一方財政は厳しさを増すというのであれば、バブル時代の思想で策定された野幌駅周辺の広大な計画は見直すべきではないか。そのような視点は今回なかったのか。「一旦決められたものは粛々と実行する」というのであれば、今次素案に言う「時代の変化に応じて常に見直す」という文章と矛盾するではないか。</p> <p>野幌駅周辺については、北側広場が出来上がった時点で一旦立ち止まり、将来人口や経済・財政状況を勘案して南側広場の計画を見直すなど、文字通り「柔軟な計画遂行、行政運営」が必要ではないか。関係者が勇断を持って検討されることを望みます。</p>	<p>江別の顔づくり事業は、コンパクトな市街地形成などによる歩いて暮らせるまちづくりをめざすもので、長期にわたる事業であり、現総合計画における達成状況を踏まえ、高齢化や人口減にも対応した事業として、新しい総合計画の中でも着実に進めていきたいと考えております。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 10 (60歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
56	4	PDCAサイクル	2-(2) 進行管理について 「PDCAサイクル」による進行管理の「評価」において「成果指標の好評等による行政評価(市民参加による外部評価)」とあるが行政評価は市議会にやってもらうことはできないか。行政評価は市民の代表たる議員(議会)もやるべきだと思う。	行政評価につきましては、行政による内部評価だけではなく、市民参加による外部評価を実施しているほか、市議会に行政評価の結果を報告し、ご審議いただいております。
57	14	まちづくりの基本理念	3-(2)-②めざすまちの姿について ◎ まちづくりの基本理念 「協働のまちづくり」の主体を市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などとしているが、ここでいう市民とはなにかが不明確であり、「協働」という言葉の概念が不明瞭になっていると思う。「協働のまちづくり」の主体たる市民とは、「個人事業主」とし、「自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などの構成員である市民(構成員として協働の主体である)」と区分する必要があると思う。また、構成員である市民は、事業主から協働の主体として対価を得ていることを明確に意識する必要があるとともに、個人事業主である市民は協働の主体として働く以上事業相当の対価を得ることができなければならないと思う。	本計画素案でいう「市民」につきましては、江別市自治基本条例第2条第1号で定義されている「市内に住所を有する者、市内で働き、若しくは学ぶ者又は市内で事業活動を行う者若しくは団体」を意識しておりますが、総合計画の中で協働の取組を行う上で、特に重要となる大きな団体や組織をここで挙げております。「協働」の概念につきましても、江別市自治基本条例第2条第5号で「市民と市が、お互いの立場と役割を理解しながら、地域社会の課題などを解決するために協力すること」と定義しております。「市民」や「協働」の定義につきましては、併せて用語の解説で対応させていただきます。
58	14	めざす10年後の将来都市像	◎ 目指す10年後の将来都市像のイメージ 企業、大学、行政などの構成員である市民が高齢(定年)等によりその構成員として協働の主体でなくなったとき個人事業主として協働の主体となれるような都市、あるいは協働の対価の多寡にかかわらず事業主として認めることのできる都市。	いただいたご意見につきましては、「めざす10年後の将来都市像」を検討する際の参考とさせていただきます。
59	36	協働	政策08-02協働のまちづくりの推進について (3) コミュニティー活動への支援と相互連携 協働のまちづくりにおいて、行政がコミュニティー活動への支援という表現に違和感を感じる。コミュニティー活動との連携と相互支援と表現すべきだと思う。表現の問題ではないが、たとえば豊幌町内自治会予算書の収入の部に街路灯補助金(前年度実績×60%)とあり、市が自治会を支援しているようなイメージがあるが、その実態は自治会が40%支援しているのではないかというような違和感である。 (4) 市民活動団体の支援と相互連携 前述と同趣旨	ご意見のとおり、市民と市が協力して地域社会の課題解決に取り組んでいく「協働」の分野においては、市が「支援」という表現は相応しくないと判断し、表現を修正させていただきます。

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 11 (80歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
60	29	都市基盤	<p>この計画の期間中、投資額が40～50億円にも及ぶ最大の事業「新市庁舎の建設」を05-01-(1)として、もり込んでください。江別の顔づくり(2)にくりさげ、以下同じ。 (理由)</p> <p>1.防災と復興の司令部の耐震化は先送り出来ない事業です。 2.新庁舎には耐震化だけでなく機能の充実も求められます。例えば09-02であげている広報、広聴の充実のためには庁舎1階の正面に「公開コーナー」とあわせて職員が対面で接するようなスペースが必要です。 3.JRで札幌都心部に直結している江別市には、商業上の中心市街形成は無理があります。野幌地区を中心市街地としたいのならば、市庁舎の移転は、その一助となるかも知れません。</p>	<p>まちづくり政策04-02-(1)「耐震化の推進」の中で、収容避難所や防災拠点となる公共施設の耐震化を優先的に進めることとしております。</p> <p>なお、市庁舎の耐震化の方向性につきましては、耐震補強工事の手法や増築、あるいは新庁舎の建設など様々な視点で検討し、財政負担やスケジュールも含めて総合的に判断することとしております。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 12 (70歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
61	—	公園	<p>子育て教育分野の子育て環境の充実について述べます。日頃子育てスタッフとして、子ども達と接している者です。感じた事について意見を申します。よろしく願います。</p> <p>幼児が自由に遊べる場は市内の公園を利用して、水の流れているところなど沢山見られ充実してきている様に思います。水あかなど、ぬめりにも注意して、デッキブラシ等で細めに掃除されているし、さらに充実を図っていただきたい。ブランコの下足場は、ゴムマットで調整されてきているので良いですね。</p>	<p>ご意見のとおり、公園は安心して楽しむことができなければならない場所と考えております。</p> <p>公園整備につきましては、まちづくり政策の政策05-01-(2)「公園整備の推進」において、計画的な公園施設の改築・更新等による安全対策の強化に取り組むとともに、子どもからお年寄りまで誰もが安心して楽しめる公園づくりを進めてまいります。</p>
62	—	子育て支援	<p>雪の多い冬の江別では、幼児用の遊ぶ「たまり場」的建物が少ない様に思います。近隣では「川下公園」内の建物を利用したことがあります。子供たちは遊具ではしゃぎ回って楽しんでます。それに類似の建物を建設してほしいです。「すくすく」はその代替にはなり得ない様に思います。</p>	<p>ご意見のとおり、子育て環境の充実には重要な課題と考えております。</p> <p>戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」の中で、子どもの遊び場の充実に取り組んでいくこととしておりますことから、いただいたご意見は具体的な事業展開を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
63	—	子育て支援	<p>プールについては、小学生以下の子ども達が利用出来るものがあつたら良いと思います。幼児用のを作っているところもありますし、プールの深さを調整出来る施設も道北の市・町ではあります。土別市や美深町など。是非ご一考をお願い致します。</p>	<p>ご意見のとおり、子育て環境の充実には重要な課題と考えております。</p> <p>戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」の中で、子どもの遊び場の充実に取り組んでいくこととしておりますことから、いただいたご意見は具体的な事業展開を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 13 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
64	27	安全・安心	04-01-(1)「交通安全の推進」 自転車による事故を防ぐために、自転車運転ルールを市民が学ぶ場を実施し、また啓発活動を広げてほしい。	現在、幼稚園、保育園、小中学校、自治会、高齢者クラブを対象とした交通安全教室、及び市民向け交通安全イベントを実施し、自転車運転のルール等についても啓発に努めていることから、今後まちづくり政策04-01-(1)「交通安全の推進」の中で継続して取り組んでまいります。
65	28	安全・安心	04-02「地域防災力の向上」 この項には、万が一原発による災害が起きる、または起きたと想定した対策についての記述がないのですが、泊原発が身近にある江別市としては考えなくてはならないのではないのでしょうか。	総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。原子力災害対策につきましては、今後、防災会議などで議論が進められるべきものと考えており、また、北海道の原子力防災計画を見極めながら必要な対応をしてまいります。
66	29	都市基盤	05-01-(2)「公園整備の推進」 山や丘のない江別市では、特に冬期間子どもたちが屋外で遊べる場がありません。幼児や学童、冬休みや土・日曜など運動不足にもなります。できれば市内の大きい公園2~3か所にそり滑りのできる坂を作って頂きたい。飛鳥山や何ヶ所かすでに活用されているところもあるようですが、もっと身近で子ども自身が出かけられる範囲にあると冬も楽しい季節になると思います。毎年、第二中学校校庭に設置されるスケートリンクは、好評ですね。もっとPRをされると良いのではないのでしょうか。	冬期間にそり滑り等ができる公園は、現在、市内に3か所(飛鳥山公園、湯川公園、大麻西公園)あり、市ホームページにおいて、雪遊びのできる公園として紹介しております。また、お寄せいただいたご意見のように雪山をつくと、雪の重みや重機作業による公園施設等の破損や、融雪後の春の公園開放が遅れることから、現状では、公園内の地形(坂)を活かした3か所の公園をご利用いただいております。
67	31	子育て・教育	06-01-(1)「母子保健の充実」 母性の保護のためには、父性である父親の役割(サポート)も大切であると考えます。両親教育や祖父母までも視野に入れた取り組みで、母親の育児負担感を軽減し、子育てを楽しいものにしていかれるのではないのでしょうか。	現在、母親の育児負担軽減のため、出産を控えた夫婦を対象とした両親学級や各種検診等をとおして、父親だけでなく祖父母も含め、様々な働きかけを行っております。引き続きまちづくり政策06-01-(1)「母子保健の充実」の中で、母親の育児負担軽減のための支援に努めてまいります。
68	31	子育て・教育	06-01-(2)「地域子育て支援の充実」 ファミリーサポート事業の利用料金について、一時間600円の利用者負担をもう少し引き下げることはできませんか。サポート受け手として私自身も登録していますが、数時間または兄弟姉妹、複数のお子さんで利用しようとする負担が大きくなり利用しないこととなります。	現在の当市の基準は、近隣自治体と比べ、標準的ではありますが、利用しやすい制度となるよう、今後も利用者のみなさんの声をお聞きしながら事業を進めてまいります。

69	31	子育て・教育	<p>06-01-(5)「療育支援の充実」 療育を受ける子ども自身への支援と共に、その家庭の療育疲れ・負担へのサポートがあると、良いのではないのでしょうか。(すでに、何か実施されているかとも思いますが)</p>	<p>現在、障がいのある児童の日中活動の場の提供とその家族への負担軽減などを目的に、市内外の事業所で日中一時支援事業が実施されております。 障がいのある児童やその家族の支援につきましては、新しい総合計画においても、まちづくり政策06-01-(5)「療育支援の充実」の中で、継続して取り組んでまいります。</p>
70	32	子育て・教育	<p>06-02-(1)「教育内容の充実」 すでに授業のなかで実施されていることかもしれませんが、江別の子どもたちに江別の歴史・文化・自然・産業について丁寧に学ばせて欲しいと思います。自分の町のことを知ることは、誇りと愛着、子どもなりに町を良くしたいという気持ちを育てることにつながると思います。</p>	<p>学習指導要領では、小学校3・4年生は、自分たちの住んでいる地域の地形・交通・産業・歴史を学習することとされております。さらに、本市では、地域の状況をまとめた社会科副読本を作成し、授業で活用しておりますことから、新しい総合計画においても、まちづくり政策06-02-(1)「教育内容の充実」の中で継続して取り組んでまいります。</p>
71	33	生涯学習・文化	<p>市内には、それぞれの分野(学術研究・文化・芸術・スポーツなど)で優れた業績をお持ちの方々がいらっしゃいます。その方々の協力をいただき、講演会・実技講習など市民とふれあう機会を設け、市外からも人々を招き、江別市を紹介してはいかがでしょうか。</p>	<p>これまでも講演会や実技講習などの各種事業において優れた業績を有する方々に協力をいただいております。これらの方々と市民がふれあうことは、人々に感動や刺激を与え、結果として江別市の魅力の向上につながるものと考えます。 いただいたご意見につきましては、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 14 (70歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
72	14	まちづくりの基本理念	めざすまちの姿(1)④環境にやさしいまち→自然環境として野幌森林公園と石狩川があげられていますが、世田豊平川の環境改善に取り組んでください。汚染がひどくドブ川になっています。屯田川もそうです。	いただいたご意見を十分に受け止め、河川の環境保全及び改善に取り組んでまいります。
73	15	都市づくり	(4)都市づくり②自家用車に過度に依存することなく→賛成。そのためには自転車の分担率を飛躍的にあげる対策が必要と考えます。	ご意見のとおり、人口減少と高齢化に対応するために、過度に自家用車に依存することなく快適に生活できるよう、駅周辺に生活機能を集約するなどとしたコンパクトなまちづくりを進めていくことは重要と考えております。 いただいたご意見につきましては、戦略3の戦略プロジェクト「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)」を推進していく際の参考とさせていただきます。
74	21	自然・環境	01-01-(2)「水と緑の保全」→世田豊平川と屯田川の環境改善。とくに世田豊平川の五丁目の下流域に工場廃水が垂れ流しになっています。	世田豊平川周辺には、下水道法の規定する汚水等排出施設を有する事業場が複数あります。これら特定事業場につきましては、排水水質の自主測定を行い適正な管理を行うことが義務づけられ、市でも確認をしております。 今後とも、事業場排水の監視とともにその適正管理について指導してまいります。
75	26	福祉・保健・医療	03-05-(3)「国民健康保険制度の安定」→安定を否定はしませんが、保険税が高すぎます。とりわけ低所得者や軽減世帯ほど高負担率になっています。全般的に取り過ぎですので、所得に応じて保険税引き下げ改定をしてください。	国民健康保険税につきましては、保険給付費や加入者数、収納率等に加え、その時点の市の情勢や財政状況を勘案して決定しております。 国民健康保険税の改定につきましては、市民の健康増進のためのあらゆる対策を推進し、中期的な視点に立って、保険給付費等の推移等を見極めた上で、判断してまいります。
76	28	安全・安心	04-02-(2)(3)「防災意識の向上」・「防災体制の強化」→泊原発に対する防災意識と対策がありません。放射能汚染は偏西風に乗って江別にも拡大する可能性を否定できません。それなりの研究と対策が必要と思います。	総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。 原子力災害対策につきましては、今後、防災会議などで議論が進められるべきものと考えており、また、北海道の原子力防災計画を見極めながら必要な対応をしてまいります。

77	29	都市基盤	05-01-(1)「江別の顔づくり」→地域活性化に貢献しません→凍結・見直しの時期です。	江別の顔づくり事業は、コンパクトな市街地形成などによる歩いて暮らせるまちづくりをめざすもので、高齢化や人口減にも対応した事業であると考えており、新しい総合計画の中でも着実に進めていきたいと考えております。
78	29	都市基盤	05-01-(2)「公園整備の推進」→障害者に対する安全性が確保されていません。たとえば、錦町公園は階段だらけで障がい者は公園の中央には近づけませんし、東屋の3段の階段を上げません。ほとんどの公園に野外卓がありません。背もたれ付きベンチがある公園が少なすぎます。たとえば錦町公園は皆無です。平ベンチではなくつろいで公園ですごすことができません。東屋の正方形(120センチ×120センチ)の平ベンチは不便です。むしろ、野外卓を囲む平ベンチのセットのほうが便利だとの意見も多いようです。	ご意見のとおり、障がい者も含め誰もが憩える公園を整備していく必要があると考えております。そのため、公園施設の新設、増設又は改築を行う際には、公園のバリアフリー化を行うこととしております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
79	29	都市基盤	05-01-(5)「バリアフリーの街並みづくり」→街路のバリアフリー化とともに夜暗い街路の解消に努めてください。例えば八丁目通の二番と三番通の間。歩道の街路灯が必要と思います。	夜間の防犯等を図るため、まちづくり政策04-01「安全な暮らしの確保」の中で、引き続き地域との連携の下、設置に係る優先度等を見極めながら整備に努めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
80	30	都市基盤	05-02-(1)「安全で快適な道路環境づくり」→野幌駅高架にともなう南北道路に信号も横断歩道もなく危険極まりない状態が続いています。早急に対策を講じてください。また、鉄東線の北側など2 ^{丁目} 以下の(市道の)歩道が散見されます。狭い歩道での事故の可能性がありますので、早急に拡幅が必要と思います。	信号機・横断歩道等の設置は、北海道公安委員会が所管しておりますので、早期に信号機・横断歩道等を設置するよう、江別警察署を通じて北海道公安委員会に対し、引き続き要請してまいります。歩道の拡幅につきましては、まちづくり政策05-02-(1)「安全で快適な道路環境づくり」を推進していく際の参考とさせていただきます。
81	33	生涯学習・文化	07-01-(1)「社会教育関連施設の充実」→野幌公民館のロビーの照明不足の解消と、通年の月曜閉館を解消してほしいと思います。	利用者の意向を把握した上で、利用しやすい施設となるよう努めてまいりたいと考えておりますことから、いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
82	33	生涯学習・文化	07-01-(1)「社会教育関連施設の充実」→図書館の資料の充実は当然として、今どき10時開館は納得いきません。他の公共図書館は10時前(9時、9時15分など)のところが増えています。昼食の関係もあり、午前の2時間では使い度が悪すぎます。	

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 15 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
83	—	—	<p>はじめに 「新しい江別市総合計画」を読まさせていただきましたが、何か物足りないものにも思えました。来年度から進めるには、極めて一般的、抽象的で目指しているものが明確でないように感じました。 江別市として少子高齢化社会にあって、地方自治法の「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担う」提言とは言いがたいのではないかと。新しい総合計画に、具体的な施策を示して意見を聞くべきと考えます。 2年前に「策定方針」について意見を具申しましたが、このまま粛々と計画を進められそうなので、今一度一言意見を提出します。</p>	<p>新しい総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示すものであり、具体的な施策展開は個別計画等に位置づけ、総合計画と整合を図りながら、取り組むこととしております。また、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、重点的・集中的に取り組んでいく「えべつ未来戦略」を策定し、江別市ならではのまちづくりを進めていくこととしております。 その中でこの度、「えべつ未来戦略」を含む新しい総合計画の素案につきまして、市民の皆さまからのご意見を募集したところであります。</p>
84	21	自然・環境	<p>1. 人と自然の共生 私は、江別市のこの自然環境に対する計画に賛同いたします。人は、自然に働きかけても破壊しては存在できません。これまで過度に自然破壊を進めてきましたが、これからは環境保全に力を尽くさなければなりません。日本は2度原爆を投下され、今なお苦しめられている人々が存在します。その上福島第一原発の事故により避難を余儀なくされています。後世にむけ放射能汚染の拡大をいとめねばなりません。江別市として非核都市宣言を行い、原子力発電の再開中止を求めべきと考えます。様々な施策にふれる前に明確にすべきことではないでしょうか。(政治的見解の相違があり触れてはいけないことでしょうか。) その上で再生可能エネルギー利用の推進を進めましょう。市民への浸透とともに、推進の補助を検討されるよう求めます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、新しい総合計画の策定にあたって参考とさせていただきだけでなく、今後の市政を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。</p>
85	23	産業	<p>2. 産業 02-01 農業経営の安定化が提起され心強く思いました。農業は人類の生存に欠かすことが出来ません。日本の農業は自給率が大きく落ち込んでいます。自給率の低下に一層の拍車を掛けるのがTPPと考えます。TPPへの参加に反対しないで農業の推進を言うのは疑問です。 さて、北海道は寒冷地であり農業に適した土地です。光合成により無から有を生み出す農業を大いに奨励して下さい。安心・安全を追求し、地産地消とともに大いに売り出す工夫をお願いします。農業従事者の所得が労多くして少ないことが明らかとなっています。TPP参加反対と農家への所得保障などを国に働きかけると共に、市独自の施策を考え進めて下さい。</p>	<p>ご意見のとおり、江別市の基幹産業の一つである農業の振興は産業活性化のために重要と考えておりますことから、新しい総合計画においては、まちづくり政策02-01「都市型農業の推進」に取り組むだけでなく、戦略2の戦略プロジェクト「農業と2次産業・3次産業との連携による広域的な展開」を設定し、農業を軸とした産業振興に重点的に取り組んでいくこととしております。 なお、TPPIにつきましては、今後とも参加交渉や国の方針を注視してまいります。</p>

86	23	産業	02-02 商工業の振興では意見を持ちません。が、札幌のベッタタウンであり、多くの市民が札幌市へ通勤し、買い物をして帰ってくる。必要なときは札幌へ買い物に行くことを考えますと、地域ごとに生活物資の商店街を追求すべきと考えます。買い物に便利な巡回バスなどの導入が欠かせません。札幌市商店街に対抗することはかないません。	いただいたご意見につきましては、まちづくり政策02-02-(5)「商店街の活性化」や戦略2の戦略プロジェクト「産業間連携等による産業の活性化」を推進する際の参考とさせていただきます。
87	25	福祉・保健・医療	「だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします」に大賛成です。地域医療体制と市立病院経営の安定をうたっていますが、市立病院経営の改善にのみ偏重してはいけなとを考えます。ここでは児童・障がい者・老人など弱者の立場に立って施策を進められることを求めます。それぞれの法律の精神に基づき進めて頂きたい。	ご意見のとおり、全ての市民が健康的に安心して暮らせるよう、政策03「福祉・保健・医療」を推進してまいります。
88	26	福祉・保健・医療	03-04 高齢者が閉じこもることなく、社会参加することを提言されていますが、若者の仕事・生活の安定を脅かしてはならないと考えています。社会参加の名の下に安価な労働力として若者を圧迫していないか。	ご意見のとおり、若者の雇用対策は重要な課題と考えおり、まちづくり政策02-02-(6)「就業環境の充実」を推進する際の参考とさせていただきます。
89	26	福祉・保健・医療	個人的には老人福祉法が大好きで、その実現を求めてやみません。老人健診の充実と老人医療費の無料化から遠く離れてしまいましたが、再検討をしてください。高齢者の健康増進には公共施設の活用を進めましょう。	高齢者の医療につきましては、全国共通の後期高齢者医療制度の基盤の中で実施されているものであります。老人検診を含めた高齢者の健康増進につきましては、まちづくり政策03「福祉・保健・医療」の中で、総合的に取り組むこととしております。
90	26	福祉・保健・医療	後期高齢者医療制度は多くの国民が反対を唱えたものです。この制度の安定を言う事は、高齢者の意向を逆なでするもので正しくないと思います。再考を促します。	後期高齢者医療制度は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく医療制度の一つであり、相互扶助で支え合う制度となっております。今後とも対象者の方々の健康保持増進に寄与するよう努めてまいります。なお、制度運営に関し、必要と考えられる事項につきましては、全道市長会や広域連合等を通じて、国や道へ働きかけてまいります。

91	29	都市基盤	<p>5. 都市基盤 政策展開の方向性では美しく描かれています。しかし、「駅を中心とした賑わい」の町になっているでしょうか。江別市には豊幌、江別、高砂、野幌、大麻と五つの駅がありますが、いずれも駅を中心としたにぎわいがつくりだされていません。どこも大型店舗に食い荒らされ、個人商店は疲弊しています。これを市政で立て直すと言うならビジョンを示して下さい。地元商店街に失礼とは思いませんか。絵空事を書くべきではないと考えます。</p>	<p>人口減少・少子高齢化社会に対応した都市づくりにおきましては、都市機能の集約化や自家用車への依存度の低下などの視点から、これまで以上に市内各駅周辺地区の役割が重要となるため、新しい総合計画では戦略3の戦略プロジェクト「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)」を設定し、駅周辺の利便性の向上や活性化に重点的に取り組むこととしております。</p>
92	29	都市基盤	<p>「江別の顔づくり事業」は、駅周辺の自動車走行により危険がますます増えることが予想されます。通り抜けには便利でも活性化に逆行する施策と考えます。今一度立ち止まって検討してはいかがでしょうか。危険な百閒境の解消など、「顔づくり」を強行する前にやるべき整備事業が山積みと考えます。</p>	<p>江別の顔づくり事業は、都心環状道路により通過交通を低減させ、駅周辺のコンパクトな市街地形成などによる歩いて暮らせる安全なまちづくりをめざすもので、高齢化や人口減にも対応した事業であると考えており、新しい総合計画の中でも着実に進めていきたいと考えております。</p>
93	31	子育て・教育	<p>6. 子育て・教育 子育て環境の充実には、子どもを産み育てる若者の居住が欠かせません。江別市の就労環境はどうか、通勤者の利便性と住環境の整備・補助は検討されているのか。この大前提を整備することが必要と考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、子育て世代(若者)の定住促進に重点的に取り組むことが重要と考え、戦略2の戦略プロジェクト「雇用の創出と人材育成の支援」や戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」を設定し、就労環境の整備や住環境の整備等に取り組んでいくこととしております。</p>
94	31	子育て・教育	<p>その上で、母性の保護、子どもの医療、保育などの施策を進めてください。乳幼児医療費の助成を大幅に拡大すべきではないでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、子育て支援全体の中で、総合的視点からの検討が必要と考えておりますことから、まちづくり政策06-01「子育て環境の充実」や戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」を具体的に推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
95	32	子育て・教育	<p>教育では、教師の過度の負担を軽減しなければならないと考えます。「変化の激しい社会」の中で、競争に明け暮れるのではなく、他人(ひと)を思いやる子どもたちの育成を進めましょう。そのための環境作りの市政を求めます。</p>	<p>いただいたご意見は、まちづくり政策06-02「子どもの教育の充実」を推進する際の参考とさせていただきます。</p>
96	35	協働	<p>8. 協働 市政への市民参加の拡大が強調されています。これは粘り強い取り組みが求められます、通り一遍の意見聴取や計画推進の為のアリバイづくりではこまります。</p>	<p>ご意見のとおり、江別市自治基本条例の理念にのっとり、市民自治によるまちづくりが実現できるよう、市民参加・協働の推進に努めてまいります。</p>

97	35	協働	<p>自治会との連携の下と言及されています。ぜひ自治会会員を相手に意見聴取にお越し下さい。準備期間などをいただき、関心ある事項を明らかにし招集いたします。ただ、自治会は、①会員相互の親睦を図り、②住み良い地域社会をつくることを目標にしています。政治的な問題を議決することはありません。会長や役員の見解はあくまでも個人の意見でしかありません。地区連の会長と言えどもこの基本は変わりません。注意を喚起すべきかと考えます。</p>	<p>自治会との連携につきましては、「市長との対話集会」など、様々な機会を通してご意見を伺っておりますが、いただいたご意見につきましては、まちづくり政策08-01-(3)「コミュニティ活動への支援と相互連携」や戦略1の戦略プロジェクト「多様な主体が協働するまちづくり」を推進する際の参考とさせていただきます。</p>
98	-	-	<p>ながながと記して来ましたがこの辺で止めます。誤字・脱字、誤った言葉遣いにはご容赦願います。ただ、住み良い「まち」にしたい一心です。そのためには、光合成と動物との関係に思いを馳せ、自然と人間の関係(の真理)に基づき述べさせていただきました。政治的発言とは考えていません。お含みいただければ幸いです。</p> <p>施策にあたっては、日本国憲法、地方自治法をはじめ関係諸法にのっとり行われるものと考えます。特に、老人福祉法に精通いただきたい。また、2年前の意見具申も参考にしてください。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、新しい総合計画の策定にあたって参考とさせていただくだけでなく、今後の市政を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。</p>

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 16 (年代不明、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
99	-	-	<p>・10年後をふまえた総合計画を策定するにあたり、様々な視点から政策を検討していくのですが、その中でも中心としたいものがわかりにくいです。 今後さらに人口減少と少子高齢化が予測される中、まちに活気があって住み続けたいと思われるような環境づくりをすすめる政策が求められます。 江別は大都市札幌に近接し、利便性がありながら、緑が多く、食料生産を担う農業も盛んな安らぎを感じるまちです。子育て世代が住みたい・住み続けたいと思うような政策を総合計画の中心に据えることが、まちの人口減少に歯止めをかけ、また高齢者にとっても元気のでる生活を営むことになると思います。 そのためには、子育て世代が安心して住める政策を、政策06の子育て・教育の分野だけでなく、9つの政策それぞれの中に位置づける必要があると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、市として重点的に取り組んでいく方向性を明らかにするため、新しい総合計画では、従来の総合計画のように市政全般に係る政策展開の方向性を示すだけでなく、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、重点的・集中的に取り組んでいく「えべつ未来戦略」を策定し、江別市ならではのまちづくりを進めていくことにしております。 また、人口減少・少子高齢化時代にあってもまちの活力を維持していけるよう、「えべつ未来戦略」の中で戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」を設定し、子育て世代が住みたい・住み続けたいと思うようなまちづくりに重点的に取り組むこととしております。</p>
100	27	安全・安心	<p>例えば、政策04の安全・安心の04-01 安全な暮らしの確保には、食の安全・安心を加える必要があると考えます。子育て世代は子どもに安心して食べさせられる食を求めているはずで、日常の食材に、市内の生産者が安全性を希求して生産したものを適正な価格で購入できること、給食では誰がどこでどのように生産した材料で作ったのかわかるもの、そして添加物等がなく食文化が継承される献立を供給することが子ども達やその家族にとって大切なことです。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、02-01-(4)「地産地消の推進」や06-02-(2)「健康教育の充実」の中で、組織横断的に取り組んでまいります。</p>
101	21・22	自然・環境	<p>また、政策01の自然・環境の01-01 人と自然との共生には、自分達が使用する水や排水する水について関心を持つような政策を加えるべきです。水は全ての生き物の命の源です。地球上の水のうち、人が使える水はごく一部であり、又循環しているものですから、使った水にその先に住む水中生物等に悪影響が懸念されるものを流さないことが当たり前に実践できる大人や子どもを育む政策を盛り込んでください。さらに、01-02 循環型社会の形成には廃棄するものを最小限に抑えるため、リデュース・リユースをメインにした取り組みを進め、人や環境中に住む他の生き物に有害性が懸念される化学物質等を削減し、次世代に豊かな自然環境を残せる政策をすすめてください。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、まちづくり政策01「自然・環境」を進める際の参考とさせていただきます。</p>

102	—	—	・総合計画策定にあたり開催した市民説明会での意見・要望や、今回のパブコメで出される意見等を十分にふまえて計画を策定し、次世代に自信を持って渡せるまちづくりをすすめてください。	新しい総合計画は、江別市自治基本条例の理念にのっとり、市民とともに作る計画を強く意識して策定作業を進めており、様々な機会を通じて市民の皆さまからたくさんのご意見をいただいております。今回いただいたご意見につきましても、十分に踏まえて計画を策定し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。
-----	---	---	-----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

通番	素案のページ	項目	ご意見を寄せられた方 17 (年代不明、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
103	—	—	レッジエミリア教育アプローチやレミダ・レミダデーなどの取組の導入提案(詳細な企画書による提案)	いただいたご意見につきましては、まちづくり政策06-01「子育て環境の充実」や戦略3の戦略プロジェクト「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」を推進する際の参考とさせていただきます。